

## 四谷の

# 千枚田だより



第 51 号

家族写真 下げて金髪  
紫山子まつ 西尾市 深見ゆき子  
秋澄んで水音連なる  
千枚田 西尾市 鈴木梢

重要文化的景観に選定されたものについては、現状を変更し、あるいはその保存に影響を及ぼす

受け入れられる規制をつくり挙げて、そのもとに保存の措置を講じていくという内容です。  
すでに千葉県の大山千枚田や佐賀県の蔵野棚田などが文化的景観に指定されており、その他にも多くの棚田が指定への名乗りをあげております。

「中山間地域等直接支払制度」、「棚田地域等緊急保全対策事業」、「ふるさと・水と土保全推進事業など各制度、事業の成立は全国棚田（千枚田）連絡協議会が毎年棚田サミットを開催し、全国的な棚田保全活動を展開していることが一つの動因となり、国や関係機関のご理解ご支援をいただいた成果です。

四谷の千枚田では、これらの事業のうち「直接支払制度」による集落協定を結び、交付金の支払いを受けております。また、「ふるさと・水と土ふれあい事業」では作業道（景観道）や都市交流の場「ふれあい広場」などが整備されております。

## 棚田・里山を

### 「重要文化的景観」に

文化庁は、「重要文化的景観の選定制度」の運用方針を策定し、十七年四月二十六日付けで、各都道府県、指定都市、中核市、関係独立行政法人に通達しました。十六年の文化財保護法改正では、棚田や里山など、人と自然との関わりの中で作り出された優れた景観を「文化的景観」

と定義し文化財の一領域に位置づけるとともに、特に重要な「文化的景観」を都道府県・市町村の申出に基づき、国が「重要文化的景観」として選定できるとしています。  
**文化的景観の定義、重要性**  
文化的景観とは、以下の文化財を指します。

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの  
(文化財保護法第二条第一項第五号より)

文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃その価値にはなかなか気付きにくいものです。文化的景観を保護する制度を設けることによって、その文化的な価値を正しく評価し、地域で譲り、次世代へと継承していくことができるのです。

文化的景観の中でも、文化財としての価値から特に重要なものについて、都道府県又は市町村の申出に基づき、「重要文化的景観」として選定することができます。

行為をしようとする場合、文化財保護法により、文化庁長官に届け出ることとされています。ただし、通常の生産活動に係る行為や非常災害に係る応急処置等においては、その限りでありません。また、文化的景観の保存活用のために行われるさまざまな事業、たとえば調査事業や保存計画策定事業、整備事業、普及、啓発事業に対しては、国からその経費の補助が行われます。

重要文化的景観の選定制度は、平成十七年四月一日の文化財保護法の改正により始まった新しい文化財保護の手法です。

この文化的景観の制度は、従来の国宝重要文化財とか、史跡・名勝、天然記念物のように非常に強い縛り、規制のある制度ではなく、むしろ、その土地利用の中で今の規制の制度の中で措置がとられているものをその地域の人のそれに対する思いと、それを次世代に繋いでいこうという思いがあれば、それをベースにして非常に穏やかな規制のもとに、地域の人たちがみずから



四谷の千枚田は鞍掛山の恵み（湧き水）を受け、長い歴史の中で築き上げられており、そして、このところ耕作道や都市交流の場「ふれあい広場」の整備、サミット開催、むらづくり受賞など千枚田を柱に頑張っております。このような景観を満ちた中にある文化的な価値を活かし、次の世代に伝えていくためにも「文化的景観」制度の導入を提言します。  
(舜)

## 新城ラリー昇格記念



007 ラリー参加車両

十一月十日（玖老勢 桃の久保林道）・十一日（庭野 玉の木林道）で行われた自動車レース「新城ラリー」は、今年から全日本選手権に昇格し、その記念として作られた「特別限定純米酒」百六十本（五合 三千元）が予約販売され、お手元にはクリスマスに届けられます。

この記念酒は四谷の千枚田で小山泰弘（保存会長）が育成、天日干した「ミネアサヒ」を奥三河の醸造メーカー「ほうらいせん」の関谷醸造で醸したエコ純米酒です。

昨年行われたエコドライブラリーでは千枚田が第一チェックポイントになり、その交通整理、接待にお助け隊や棚田のおっ母さんが協力した経緯があります。

## 横浜ゴム地域に貢献

横浜ゴム（株）はCO<sub>2</sub>の削減を図るため会社敷地内にドングリを植樹、1000年の杜の造成に取り組んでいます。「詳細は四谷の千枚田49号に掲載」同社は企業が社会に貢献の一環として環境にやさしく育てられた稲藁を「千枚田の保身に頑張っている皆さんのお役にたてば」と高価に買い取っていただきました。

千枚田の耕作者は「これで、おかげや肥料が買える」と大変喜び、大変感謝しております。

## 岡崎あるじつ会

十一月四日（日）、岡崎市のあるこう会の会員約七十人が千枚田から鞍掛山に上りました。

当日は会員の要望で千枚田の概要説明を小山舜二が行いました。



## 東京棚田フェスティバル

十一月十日（土）、棚田ネットワーク主催の第二回東京棚田フェスティバルが有楽町の東京交通会館で開催、棚田地区特産品販売や全国二十ヶ所の新米販売などが行われました。四谷の千枚田からは「恵まれた湧き水とハザ架けで作った幻の米 ミネアサヒ」として出品しました。

## 掲示板

### ◇鳳来中ふるさとウォーク

十一月十七日（土）、鳳来中学校のふるさとウォークが連谷地内の与良木峠や方瀬の根道をコースに行われます。安全誘導や史跡説明などにお助け隊が先輩風を吹かしながら案内します。

### ◇ふれあい教室・学芸会

連谷小では十一月十七日（土）、ふれあい教室を開きます。今年も千枚田で『米作り』の体験学習を行い、収穫できた糯米を使って地区の皆様とともに昔ながらの餅つきが行われます。全校十名の子どもたちも、恒例になった『ふれあい教室』で皆様といろいろな交流ができるのを心待ちにしています。

### ふれあい教室の日程と内容

わらを使って 九時四十五分～

連谷明老クラブの協力で行います。

もちつき 十一時十五分～

野外で蒸し、杵と石臼で餅をつき、あんこ、きなこ、大根おろし、海苔等お好みに合わせていただきます。温かい豚汁もあります。餅つきはどなたでも参加できます。午後一時から学芸会が行われ、四番目に全校生徒で「千枚田での米作りと食育の取り組みから」と題した発表・群読があります。

◇新城ライオンズ  
十一月二十一日（水）、新城LCは新城観光ホテルで定例会を行い、その席で「四谷の千枚田の保全活動」について小山舜二が講演します。

◇餅つき大会  
十二月九日（日）、「田吾作」恒例の餅つき大会が開かれます。当日は田吾作こだわり（有機・減農薬栽培）の糯米、粳米の販売も行います。参加費は無料ですが、志はお受けします。

◇みんなの奥三河（シリーズ）  
十二月九日（日）、新・体験交流ガイド「みんなの奥三河」が開かれ、お助け隊指導によるミニ門松作りが行われます。午後は田吾作主催の餅つき大会に参加します。

行 平成十九年十一月十五日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文責 小山舜二